

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26-10	今後もセンター方式(B-3やD-1)の一番右欄の「私の願いや支援をしてほしいことの記録と共に、24時間シートが一番右欄「気づいたこと・注意点」の記録を増やしていく予定である。	入居者のできることや本人がやりたいことをみつけていけるよう、職員が意識し考え観察し、入居者の立場にたった介護を支援していく。	入居者の普段の言動を観察し、入居者の気持ちや願いを常に考え、職員間での情報共有を業務ミーティングや申し送り等で行っていく。	12ヶ月
2	33-12	今後も看取りケアに関する勉強会を行い、全職員の知識と意識を高めていきたいと考えている。入居者ごとに主治医が異なり、今後も24時間体制の往診状況を再確認すると共に、往診が叶わない場合の医療連携の在り方を検討していく予定である。	看取りケアに関する勉強会などで、職員の意識を高めること、ホームの医療連携の在り方を検討し、今後の看取りケアに繋げていく。	看取りケアに関する勉強会を行う。また、入居者の身体について把握し、家族、主治医へ状態変化があった時の、往診ができるか受診時に再確認し、転院等も考え連携を図る。	12ヶ月
3	35-13	毎年、年2回(5月と11月)の予定で消防署と一緒に昼夜想定避難訓練を行っていたが、2020年は新型コロナの影響で訓練ができていない。今後はホーム単独の自主訓練を企画すると共に、春から職員も新体制になっているのでマニュアルの再確認もしていく予定である。備蓄は行っている	ホーム単独での自主訓練を重ね、緊急事態が起きた時に慌てず冷静に行られるようになる。また、必要物品などの確認も定期的に行う。	自主訓練での役割を身に着け、日頃から意識して、どう動くか避難場所はどこか頭に入れておくようにする。また、半年おきに、必要物品などの確認も行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月